



ブログで現場の生の声を

NPO法人宝塚NPOセンター

「生きがい」とサポートセンター「阪神北」ではNPOのブログポータルサイト『ボランティアライフ』やブログを通して地域の課題をNPOに相談する『地域安心お助けネット』をはじめ、地域・NPOの情報発信にブログを有効活用している。ブログが持つ役割や今後の可能性について、マネージャーの金森康さん（写真）に聞いた。

NPOによるブログ

『ボランティアライフ』は、企業とNPOの情報交流の場として始まった。「NPOの情報企業が企業に伝わっていないことが、CSRが具体化されない要因の一

〒665-0845 宝塚市栄町2-1-1 ソリオ1-3F
TEL: 0797-85-7766 <http://voluntary.jp/hnpo-net/>

つ。そこで、簡単にできるブログをNPO

が活用してみてもいいというところで、始めてみると大好評。ただ、一般のポータルサイトだと全利用者が対象で、NPOのブログは何万分の1の存在になってしまう。そこで、NPOのためのポータルサイトを開設しました」と『ボランティアライフ』開設の経緯について、金森さんは説明する。1日に600近いアクセスのブログがあったり、NPOのためのブログ講座を行うと7〜9割の導入率があり、反響の大きさがうかがえる。企業としても、CSRレポートを発行するよりアクセスが簡単なブログを利用することでより多くの人びとに情報を伝えられ、メリットが大きい。

まちづくりにもブログを

『ボランティアライフ』の他に、地域密着型のサイトとして『地域安心お助けネット』や阪神地域の生活情報満載の『阪神・宝塚・川西地域情報ポータル』（今夏始動）がある。「地域安心お助けネット」は、ブログに寄せられた質問にNPOが返答する仕組みである。今後はトラックバックによる回答が可能になり、NPOのブログとの相互性が強まる。

「ブログのやりとりを通して、それぞれのNPOの専門分野がよく分かるようになりまし」と金森さん。NPO同士の結束が生まれ、地域力が強まったと言える

であろう。

『阪神・宝塚・川西地域情報ポータル』は、地域のイベント情報やまちづくり協議会のブログ、「地域安心お助けネット」での質問・回答が表示されるようになっており、地域の可能性をブログによって一層引き出すことになるはずだ。

ブログで伝えたいこと

「NPOの要は人。どんな人びとがどのような経緯を辿っていることに結びついていったのか、そのプロセスを現場にいる人の言葉で伝えることが重要であり、それがNPOに求められている説明責任ではないでしょうか。いくつかのサクセスストーリーやハートフルストーリーがあつて、そこへのプロセスを伝える。そのためにはブログなどのデジタルメディアが有効です」

これまで、現場では忙しさのあまり、社会へ向けての情報発信が難しかった。ホームページはオフィシャルなものであり、言葉を選んで表現しなければならぬが、ブログは旬の情報をその人自身のありのままの言葉でリアルタイムに発信できる。そのことでNPOの雰囲気を感じることができるようになったのではないだろうか。今後も日々の出来事をブログで発信していくことで、NPOのファンがますます増えていくに違いない。

編集委員 久保 友美